

令和５年度 第４回 萩丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和６年２月１９日（月） １４時３０分～１６時１０分まで
- 2 開催場所 萩丘小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 莞爾、長谷 明浩、山口 実
木村 佐枝子、渡邊 貴子、尾崎 小百合
- 4 欠席委員 荒川 聖志
- 5 オブザーバー
北部協働センター 佐藤 拓男
学校評価員 森本 岳二
学校評価員 大橋 邦久
- 6 学校支援コーディネーター 北田 由美
- 7 学校 須藤 邦夫（校長）、袴田 洋史（教頭）、太田 健太郎（主幹）
兼子 陽子（ＣＳディレクター）
- 8 傍聴者 鈴木 かおり（校務アシスタント）
- 9 会議録作成者 ＣＳディレクター 兼子 陽子
- 10 議長の選出
司会（教頭）から長谷委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
(1) 学校関係者評価
(2) 令和６年度学校運営の基本方針の説明
(3) 萩丘小学校いじめ防止基本方針
(4) 令和５年度学校運営協議会自己評価
- 12 会議記録
議長の長谷委員から、委員総数７人のうち６人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

議長の指示により、主幹教諭から添付資料「令和5年度学校評価報告書」に基づいて報告があった。

1 学校教育目標と評価項目

学校教育目標：「いい顔 いい友 いい学校 ～かかわりの中で自分を磨く子の育成～」

付けたい力：かかわる力 やりぬく力 めあてをもち学ぶ力 なりたい自分を考える力
この4つをもとに指導していく

2 自己評価 アンケート結果より

①「かかわる力」との関連

評価項目、どれも高い

- ・「子供は、友達を大切に、仲良く生活している」では、児童・保護者・職員すべてにおいて95%以上
- ・「コミュニティ・スクールの取り組み」は、児童、職員の割合が高い。外部講師との連絡調整を進めたり、授業のサポートのための保護者ボランティアを募集したりと、児童の教育活動が大変充実していることに感謝

<強み>

- ・職員が教育目標と「付けたい4つの力」を理解し、同じ方向を向いて指導している。そのため児童もかかわる力を伸ばしてきている。
- ・コミュニティ・スクールの取り組みが学習を大変充実させている。
- ・生徒指導へチームで取り組む体制が整っている。また、職員間の相談しやすい雰囲気があり報告・連絡・相談の体制が整っている。

<弱み>

- ・日中のお客様へのあいさつと登下校中のあいさつに課題がみられる。
- ・コミュニティ・スクールの活動が少しずつ周知されてきたいが、児童・職員と保護者との間に若干の認識の差が見られる。

②「やりぬく力」との関連

- ・大きな行事の影響もあり、目標を立てて取り組み、毎時間の練習のめあてを立てて活動をし意識を付けられた。
- ・活動後に自分の目標を振り返る機会を、発達段階に応じて設け、児童が自分の決めたことを最後まで頑張ろうとする意識につながった。

<強味>

- ・職員が「付けたい4つの力」を理解するとともに、行事を節目として「めあて→取組→振り返り」という流れの指導をどの学年でも行うことができた。

③「なりたい自分を考える力」との関連

- ・授業や行事で繰り返し目標を持たせることが向上に役立っていると思われる。

<強味>

- ・職員が、「付けたい力」を念頭に置き、行事や活動の前に目標をもつ時間をどの学年も設け

ることができた。

<弱み>

- ・目標を持たせる活動を行ってきたが、児童が夢をもつことにまでつなげられていない。

④来年度に向けて

- ・職員が「4つの付けたい力」を理解し同じ方向を向いて指導しているが、児童と保護者も意識できるようにグランドデザインを整えるとともに、教育課程を編成する。
- ・職員がチームで生徒指導対応をするとともに、保護者や地域と連絡を取り合いながら指導を行う体制も継続したい。
- ・コミュニティ・スクールの取り組みは大変継続している。無理なく継続できるよう体制を整えたい。
- ・家庭との連携が重視されている。家庭学習は児童が自分のために学習するものであることを職員で共通理解するとともに、保護者へ周知したい。
- ・児童と教員、保護者との間に認識の差がある項目について、活動内容が伝わりやすい便りやブログを工夫したい。

(2) 令和6年度学校運営の基本方針の説明

議長の指示により、校長が添付資料「令和6年度学校経営構想（案）」を用いて説明があった。

1 目指す学校像 「未来につながる学校」

「今」と「未来」両方の力をつけたいが追い込むだけではいけない。傷ついた心はなかなか取り戻せない。今の姿も大切にしながら未来に向けて生きていく力を育んでいく。

2 学校教育目標 「いい顔 いい友 いい学校」～かかわりの中で自分を磨く子の育成～

◎「いい顔」 子供たちが未来に向けて生きていく力を育むために、ひとりひとりが夢や希望をもって生活する姿のこと

◎「いい友」 人とかかわることを大切にし、豊かな感性を働かせながら良好な関係を築こうとする姿のこと

◎「いい学校」 質的な豊かさを伴いながらも、愛情に満ちた学校の姿のこと

子供たちを心から可愛がること誓うことは、教員にとって大切なこと

それぞれの言葉の意味するところをおさえていきたい。

3 重点目標について

地域の方から「学校は目標がありすぎて何を大事にしているかわからない」「いろいろな言葉があってわかりにくい」とのご指摘あり。重点目標「知・徳・体・生き抜く力」を子供にも理解しやすいように合言葉「考えよう・一緒にやろう・やってみよう・見つめよう」を考え本校の重点目標とする。学習面、生活面、行事でも意識して取り組む。

- ・学校だよりに載っていた「ぬくもりルーム」とはどのようなものか。（尾崎委員）

- ・校外にある「学びの教室」の校内型 子供たちの避難場所としての設定（校長）
- ・教育委員会からの指示ですか。（大橋評議員）
- ・5校ずつ増やしているが、萩小は自主的に先に設置した取り組み（校長）
- ・重点目標というものが毎年更新されているが、今までのものが間違っていたのか。変えなくてもよいものを勝負して作ってもらいたい。
ネットで情報が得られる中、学校教育にタブレットでの学習が必要なのか。（山口委員）
- ・学校は毎年全力で勝負している。昔は昔で間違っていなかったし、今は今で間違っていないと思う。それぞれの時代で友達や先生と交わりながら、流行に沿いながら教育している。コロナで関りを大事にしていた教育が変わった。でも学習は継続しなければいけない。時とともに変わるしかないが、変わらないところも大事にしている。「徳」などは昔から変わらず道徳で教えている。
今の教育に疑問を感じずにやっているわけではない。大事だと思えることが必ずしもできるわけではない。やらなければいけないことをやるしない部分もあるので、それを説明で伝えようとしている。（校長）
- ・自分も学校側の人間だったので、「大切にしていること」「変わってきているもの」は理解できる。変わらなければいけない中、先生方はよくやってくれていると思う。
（大橋評議員）
- ・萩小は四つ池があるので、そこを使って自然学習は充実していると思う。
「目指す学校像」の中の「未来の子供たちも大切にする学校」について、「子供たちの未来を大切にする学校」のほうがりわかりやすいのではないかと。（長谷委員）
- ・わかりました。（校長）
- ・山口さんの意見について保護者の立場として、校長先生が「保護者と連携を取りながら」と言うように保護者としても学校とチームで子供を育てていければと思っている。協働センターも地域で子供たちを育ててくれている。そういうところとも連携しながら育てていけたら良いのではと思っている。（尾崎委員）

4 具体的方策（案）

- ①合言葉の周知徹底：授業、行事などで実践
- ②学び方改革：「教わる」授業から「学ぶ」授業へ
- ③タブレットの持ち帰り：家庭学習の見直し（学習道具に使えるように）

- ④予定帳の廃止：自分で管理する習慣づけ（手だてを考えている）
- ⑤水曜日課を午前5時間授業へ：朝の時間の見直し・午後の時間を活用
(給食後の余裕を作る)
- ⑥生活目標の見直し：萩っ子の「心得」（4つの合言葉、心得を意識させる）
- ⑦萩丘小の魅力発信：各たより、ブログの活用

- ・タブレットは毎日持ち帰りか（渡邊委員）
- ・水曜日と必要な日のみ（主幹教諭）
- ・予定帳廃止というのは、教科書がタブレットになり荷物が軽くなるわけではないのか。
ランドセルの重さとタブレットの重さが心配（渡邊委員）
- ・必要なものだけ持ち帰り、荷物が軽くなるように検討中（校長）
タブレットは今のところ貸与なので、まだデジタル教科書にはなっていない。
- ・いずれ軽くなるとよい（渡邊委員）

(3) 萩丘小学校いじめ防止基本方針

議長の指示により、教頭が別紙資料「浜松市立萩丘小学校いじめ防止基本方針（案）」を用いて説明があった。

冊子の内容はホームページにも入っている。本校職員全員が共通理解して取り組む。

昨年度、今年度を踏まえて新年度に向けて改善していく。

- ・評価アンケートの中のいじめの件数が増えているのは、相談しやすいから件数も増えているのか、いじめの件数が増えているのか。（木村委員）
- ・件数が増えているのは本人のとらえ方にもよる。スクールカウンセラー、常駐ではないが教員、保護者、地域の方にも見つけてもらいながら対応していく。（教頭）

(4) 令和5年度学校運営協議会自己評価

議長の指示により、教頭が説明

本年度の目標も踏まえて評価してもらいたい。

- ・PTA会長の欠席が多かったが、本年度4回開催、今回参加の感想を森本さんお願いします。
(長谷委員)
- ・意見交換も活発で熟議ができている。いじめの件数について学校も把握し取り組んでいる。
人権擁護委員として家庭内や学校での体罰についても法務局と相談している。ミニレター

のボックスを設置しているが自分のところには報告が上がっていない。学校、家庭で対応してもらっていると思う。
(森本評議員)

・萩小は問題が少なく有難い。評価項目 2, 3 はいかがか。(長谷委員)

・情報発信については、協議会が終わったらホームページに資料と議事録を載せている。
(教頭)

・CS便りにも議事録の内容を少し載せて、ホームページに促している。(尾崎委員)

13 報告 議長：教頭

(1) 夢育やらまいかCS加算分の報告(教頭)

4月14日の協議会でも報告したが、萩サポの皆さんに様々なことを教えて頂いているので講師料として加算する予定

(2) 令和5年度のコミュニティー・スクールの取り組みについて

議長の指示により、北田コーディネーターが添付資料「学習支援 令和5年度3学期活動報告」に基づき報告

〈スタディーサポート：スタサポ〉ボランティアによる子供たちの安全見守り及び活動サポート、問題なし。児童は落ち着いて楽しく授業を受けていた。

〈ものづくりサポート：ものサポ〉入学式モチーフ(桜)を製作中
体育館にてイメージ把握のため掲示作業、手直し予定

〈花壇の水やりボランティア：シャワーズ〉
シャワーズのみなさんに直接御礼を伝える事ができるものを
ものサポの協力を得て作成予定

〈関連授業〉 「1年生の生活 季節を感じよう(冬)」
児童に冬を感じる事・感じるものを考えてもらい発表する授業
講師の先生から五感の話もあり
コロナ禍で幼稚園や保育園で「かるた取りを経験していない児童も楽しんだ

「2年生の国語 スーホの白い馬」
講師の佐藤さんをお招きして実物の馬頭琴を見せてもらい説明を受ける
モンゴルの草原の中でゲルというテントで暮らす遊牧民の暮らしについて知る

〈その他〉 昨年7月に萩小で開催された「地域学校協働活動ボランティア講座」の成果報告会

あり。どこの地域も学校もボランティアに来てもらうキッカケを模索している

12月から、来年度に向けた萩サポと学校で打ち合わせを行い、学校と共に子供たちのために活動していく準備をしている

14 連絡事項、その他

〈卒業式、入学式について〉 卒業式：3月18日 入学式：通知にてお知らせする

〈来年度学校運営委員メンバー、萩っ子サポーターズメンバー〉

退任者より

山口委員：よい子を育てる会の会長に運営協議会の役が回ってきたが、このようなご縁をありがとうございました。

木村委員：地福先生の時からの関わりだったが、学生もお世話になりありがとうございました。
大阪の大学に行くことになったが、ここでの経験が新しいところで生きます。

尾崎委員：手探りのころから素人でわからないながらも先生に受け入れてもらい活動ができたことに感謝しています。協議会や授業に参加すると先生方の熱量を見ることができて、自分にとってご褒美で有難かった。CSの認知度が進んだことも嬉しいし、有難い。アフターコロナ、保護者にも認知が進んでくれるといいと思う。来年度からにも期待したい。

兼子ディレクター：萩サポでの期間、意識の高い人達と一緒に活動ができて貴重な経験になった。
退任後も時間を見つけてボランティアに入れたらと思っている。

今回の協議会についての感想について

北部協働センター佐藤センター長：5校の協議会に参加しているがとても楽しみにしている。それぞれの取組を協働センターでも活かしていきたい。地域・学校協働活動でのコーディネーターの取組、大変ありがたい。北部協働センターはモデル的とも言われているので今後ともよろしくお願いいたします。

大橋評議員：萩小、高中卒で形を変えて戻ってきてうれしい。萩小応援団としてサポートしていきたい。

森本評議員：子供たちのあいさつ、大体の子は返しができるようになっている感じがする。人権擁護委員として高台中学校区を回っているが、高台中の子が人権擁護の作品で賞を取り高台中の子が浜松の中で1番たくさん書いてくれたことを誇りに思う。これからもかわっていききたい。

来年度メンバーについて（校長）

長谷委員：コーディネーターは退任だが、協議会委員は続けてもらう。

他のメンバーについても紹介があった。

そのまま継続の 鈴木莞爾委員、渡邊委員、北田コーディネーターにつきましても 来年度からも
よろしく願いしたい。

議長により閉会